



# 光村図書が提案する これからの国語 主体的・対話的で深い学び

語彙力

情報の扱い方

読む力

## 》何が求められているの？

### 背景

#### 予測困難な時代

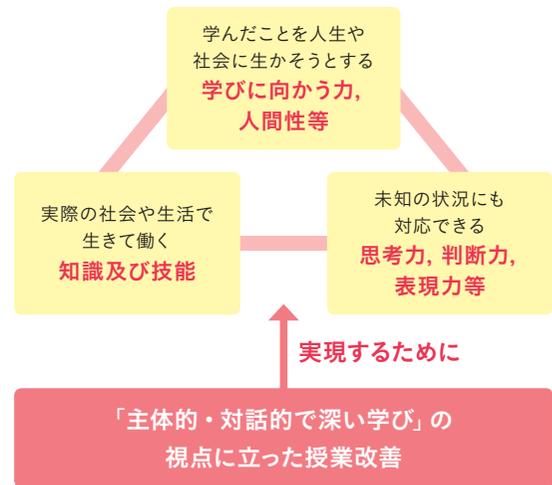
- 情報化
- 今はない職業に就く子供が65%?
- SNSの普及
- 「シンギュラリティ」人間 vs AI?
- グローバル化



### 求められること

#### 学校教育（授業）では

「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」、「学んだことをどう生かすか」という視点が大切になります。



予測困難な時代だからこそ、**基盤となる言葉の力が大切になる**と思うのです。人とつながるための言葉、共に成し遂げるための言葉、知識や体験をつなぐ言葉。新しい時代に対応しつつ、そうした言葉で生きていく力を育てたい。

この「**つながる**」「**つなぐ**」は「**深い学び**」の鍵でもあります。「わかる」とは学んだことが既存の知識や経験とつながり、**知のネットワーク**に位置づけること。「あれはこういうことだったのか。」と腑に落ちる瞬間が子供たちに生まれるような授業を工夫していきたいものです。



光村図書 編集委員  
お茶の水女子大学附属  
中学校教諭  
宗我部義則

## 》**光村発!** 授業づくりのポイント

生徒自らが  
課題を発見し、  
解決できるように



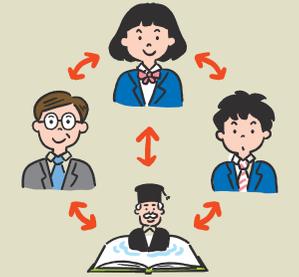
### キーワード

- ☑ 課題発見・見通し
- ☑ 自己調整
- ☑ 振り返り

### ポイント

- ・「なぜ」「どうして」が生まれる導入に。
- ・ゴール（何が達成できればよいのか）を鮮明にする。  
→行き先が明確になれば、行き方は自分で工夫できる。

考えの違う他者と  
交流し、考えを  
広げられるように



### キーワード

- ☑ 対話・質問・交流
- ☑ 可視化・共有
- ☑ 読書・古典

### ポイント

- ・「個一小集団一全体」を行き来しながら話し合う。
- ・言葉で書き出す、図に表すなど、考えを可視化する。
- ・二つの意見の、どこまでが同じでどこから違うかを考えさせる。

知識を相互に  
関連づけられる  
ように



### キーワード

- ☑ プロセス・試行錯誤
- ☑ つなぐ・生かす
- ☑ 比べる・まとめる・分ける

### ポイント

- ・これまでの学習や他教科の学習を想起させる。
- ・次に生かすための具体的な改善点を引き出す。  
「もう一度やるなら、今度はどこを工夫したいかな。」

言葉に対して  
自覚的に  
なれるように



### キーワード

- ☑ 言葉によるものの見方・考え方
- ☑ 思考を引き出す語彙
- ☑ 言葉の吟味

### ポイント

- ・「例えば」（具体化）、「つまり」（抽象化）などで言い換えたり、他の言葉や文章と比べて考えたりする活動を取り入れる。
- ・「他にびつたりの表現はないかな。」と吟味させる。

